

研究課題名	進行期パーキンソン病患者の quality of life に関する研究
研究期間	実施許可日 ~ 2026年 3月 31日
研究の対象	実施許可日から 2025年 12月 31日の間に、広島大学病院脳神経内科もしくは共同研究機関でパーキンソン病として診療を受けた患者さん。
研究の目的・方法	<p>研究目的：パーキンソン病には多くの有効な薬がありますが、まだ根治薬の開発には至っておらず、徐々に進行します。そのため多面的なケア、アプローチが必須です。特に発症から3~5年以上経過してくると進行期に至り、治療抵抗性が出てきます。特に嚥下機能や認知・情動面に支障が出て、生活の質が低下し、問題となります。その評価や介入は、まだ向上の余地があります。本研究では、特に生活の質に注目し、その評価を詳細におこない、有用な介入法を探索することを目的としています。</p> <p>研究方法：患者さんの診療上得られた情報・データを収集して統計解析をおこないます。進行期パーキンソン病患者さんに特徴的な情報を抽出します。特に嚥下機能や認知・情動面に関する情報を重点的に調べます。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢、性別、身長、体重、既往歴、生活歴（喫煙歴、飲酒歴）罹病期間、治療内容、重症度、神経学的所見、神経心理所見、聴診所見、血液検査、生理検査、画像検査（胸部レントゲン）
外部への試料・情報の提供	広島大学から他機関への情報提供はありません。 共同研究機関から広島大学への情報提供は、エクセルファイルで作成した情報を紙媒体にして、手渡しにより行います。
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日
個人情報の保護	使用する情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないよう加工します。個人と連結させるための対応表は、各施設の研究責任者が保管・管理します。
研究組織	<p>本学の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科脳神経内科学 教授 丸山 博文</p> <p>研究代表者 広島大学大学院医系科学研究科脳神経内科学 教授 丸山 博文</p> <p>共同研究機関 いでした内科・神経内科クリニック 責任者名 菊本 修 研究機関の長</p>

	いでした内科・神経内科クリニック 院長 井手下 久登
その他	個人を特定できないよう処理したうえで、データを解析しますが、ご自身の情報の使用を希望されない場合は、下記連絡先まで、お申し出ください。
連絡先・お問合せ先	<p>本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>広島大学大学院医系科学研究科 脳神経内科学 担当者：松山 稜太郎、中森正博 〒734-8553 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5201</p>